

たいま 大麻

脳への悪影響

依存症

暴力団の資金源

みんな知らない 本当の怖さ

近年、若者を中心とした大麻の乱用拡大が問題になっています。「大麻は他の薬物より安全、害がない」などの誤った情報をうのみにして、軽い気持ちで大麻に手を出すことが大変危険であることを知っておきましょう。

コレってウソ？ホント？よくある勘違い

SNSで見たけど 大麻って身体に害はないらしいよ



ウソです！

大麻にはテトラヒドロカンナビノール (THC) という、脳に作用する成分が含まれていて、乱用すると時間や空間の感覚がゆがみ、集中力がなくなり、情緒が不安定になります。また、乱用を続けると何もやる気がしない状態（無動機症候群）や知的機能の低下などが引き起こされ、社会生活に適応できなくなることもあります。

少ない量の大麻なら依存症にはならないらしいよ



違います！

初めは少量でも、使い続けるうちに使用量を自分でコントロールできなくなる例は後を絶ちません。大麻は覚醒剤などほかの薬物に比べると激しい身体症状が出ていくので、自分でも気付かないうちに大麻依存症になっていることもあります。また、さらに強い刺激を求めて大麻よりも毒性の強い薬物に手を出す例が多いことから、大麻は「ゲートウェイドラッグ」と言われています。

他人に害はないし 自己責任だから別にいいでしょ？



ノー！

大麻は国際条約に基づいて、日本の法律で規制されています。心身に悪影響を及ぼす以外にも、組織的な大麻栽培が暴力団組織の資金源となるなど、大麻を乱用することで、社会の安全に悪影響を与えてしまうのです。

■大麻取締法での罰則（例）

所持・譲渡・譲受

5年以下の懲役

輸入・輸出・栽培

7年以下の懲役

誘われても きっぱり 断る！

～大麻の誘いなどで困ったときは～
ヤングテレホン（少年相談） 電話075-551-7500
違法薬物110番 電話075-451-7957

断りにくい場合は とにかくその場から 離れる！